

江戸川区の子育て支援



江戸川区 子ども家庭部

平成 23 年度の子育て支援新規拡充事業

- 私立保育園の新設 24 年度開設に向けた施設建設・整備等の助成 1 園
- 認証保育所の新設 23 年度中に 2 か所開設
 - ・ 葛西地域 定員 40 名 (4 月開設済み)
 - ・ 葛西地域 定員 40 名 (10 月開設予定)
- 一時保育事業 2 園で新規に事業開始 (7→9 園)
 - ・ 船堀地域 定員 2 名
 - ・ 東部地域 定員 2 名
- 病後児保育事業 2 か所に補助予定 (3→5 か所)
 - ・ 篠崎地域 定員 4 名 (4 月補助開始)
 - ・ 葛西地域 定員 4 名 (10 月開設予定)
- ショートステイ事業委託 母子生活支援施設そよ風松島荘に事業委託
 - ・ 定員 1 名 (7 月 1 日事業開始)

江戸川区の現状 (人口・予算)

1

人口構成と出生数など

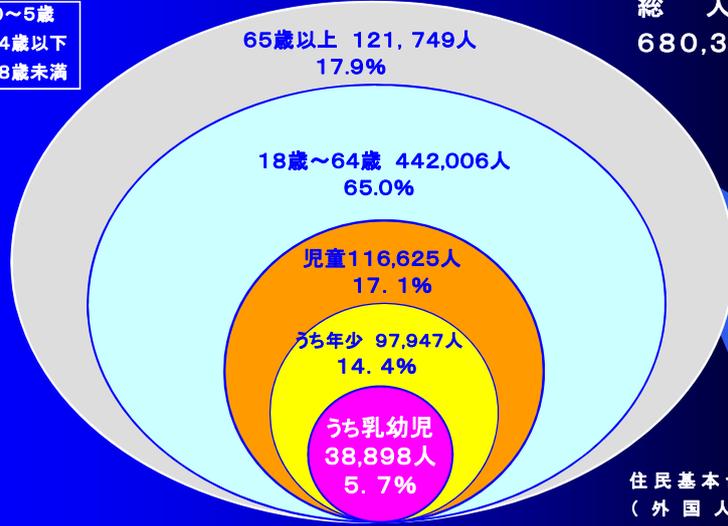
- 総人口 68万人(23区中4位)
- 乳幼児数 3万9千人(23区中1位)
- 出生数 6,300人(23区中2位)
- 出生率 1.36(23区中1位)
- 平均年齢 41.5歳(23区中一番若い区)

2

江戸川区の人口構成

乳幼児 0~5歳
年少 14歳以下
児童 18歳未満

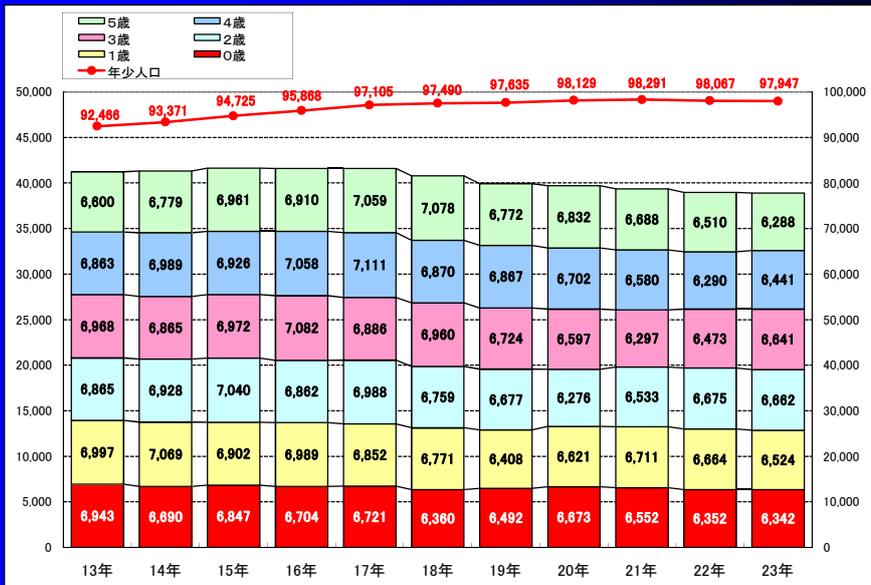
総人口
680,380人



住民基本台帳人口
(外国人含む)
23年4月1日現在

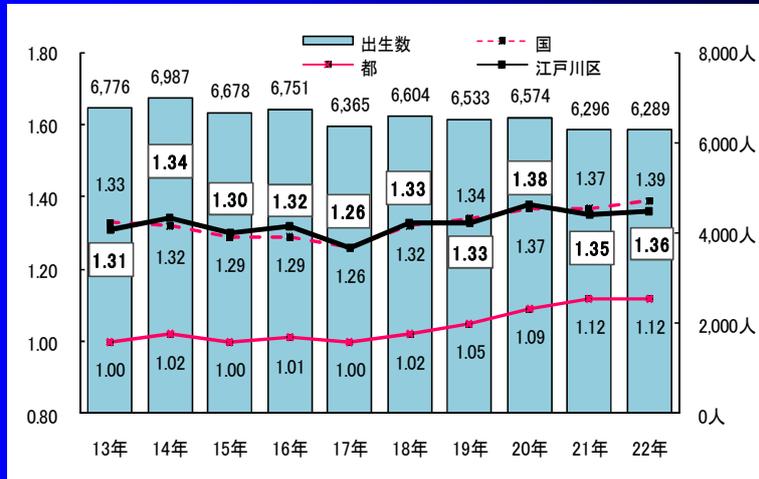
3

乳幼児人口と年少人口の推移



4

出生数と合計特殊出生率の推移

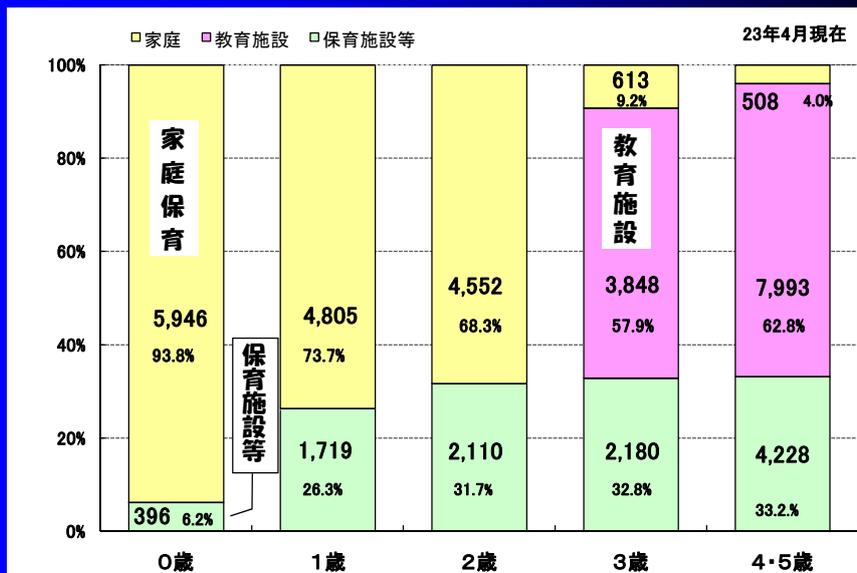


※出生数は住民基本台帳より

※江戸川区の出生数、合計特殊出生率は速報値

5

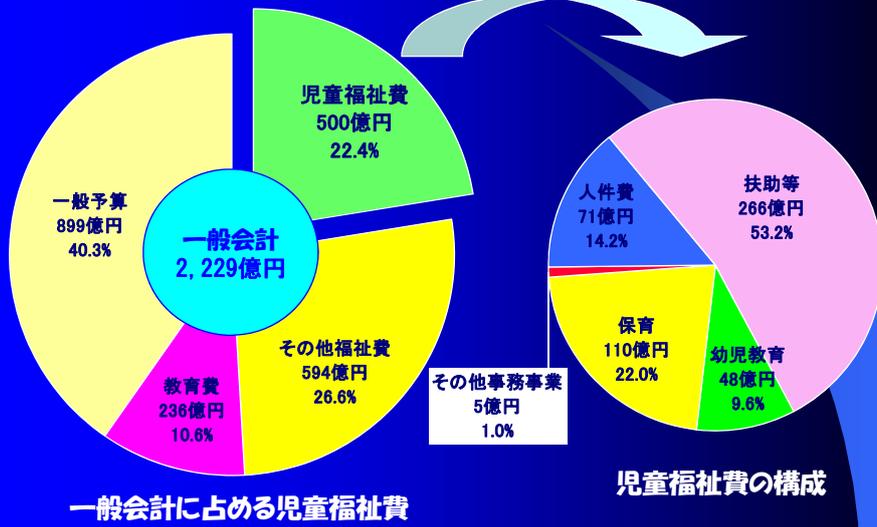
年齢別保育の状況



※23年4月の住基台帳+外国人登録より

6

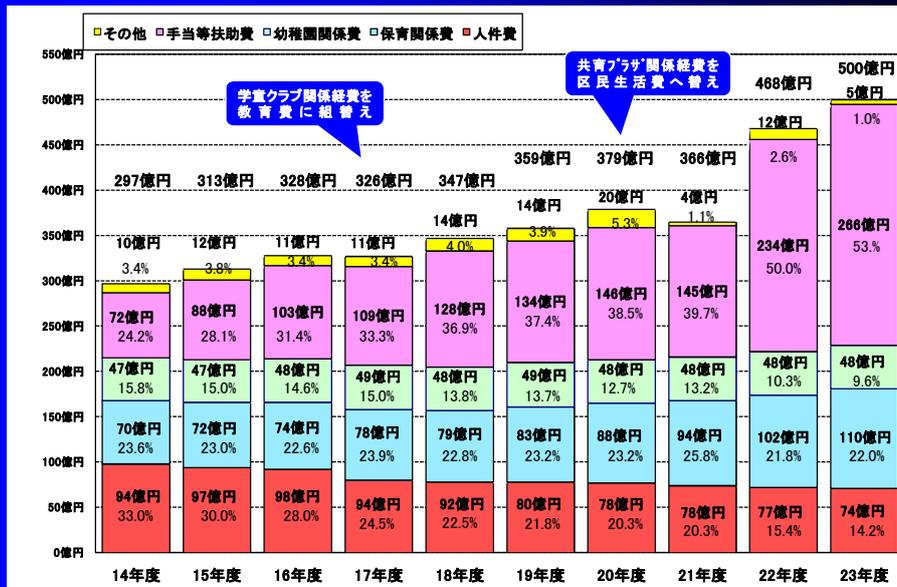
平成23年度予算の構成



※自立支援関係経費(障害児関係)を含む

7

児童福祉費予算額の推移



※保育関係予算とは、①区立保育園 ②私立保育園 ③認証保育所 ④保育ママ ⑤認定保育室 関係経費の合計額

8

子育て支援に対する 基本的な考え方

9

子育て支援に対する基本的な考え方

①子どもの成長に直接影響を与える施策
⇒ **子どもの視点にたって**

- 保育ママ事業
- すくすくスクール事業
- チャレンジ・ザ・ドリーム事業
- 青少年の翼事業 など



10

子育て支援に対する基本的な考え方

②子どもを取巻く環境の変化への対応 ⇒成長に合わせ、連続性を保つ



乳幼児期

親子の愛着関係



小学校期

多くの人との関わり



中・高校期

自立・将来に向けて

11

子育て支援に対する基本的な考え方

③子どもに大いに関わりを持って ⇒民間活力と地域力を駆使して

- 保育ママ(ボランティア精神)
- 子育てひろば(ファミサポ会員の運営)
- すくすくスクール(地域の人材活用)
- 共育フラガ(地域の人材活用)



12

子どもに関わる主な事業

13

江戸川区の特長ある施策紹介

- ① 愛情一杯の“保育ママ”
- ② 家庭保育を支援する“乳児養育手当”
- ③ 地域力を活かした“子育てひろば”
- ④ 区立保育園の“子育て安心パスポート”
- ⑤ 日本一の“私立幼稚園保護者負担軽減補助”
- ⑥ 社会教育の場“すくすくスクール”
- ⑦ 中高生の活動拠点“共育プラザ”
- ⑧ 江戸川区独自の“給食費負担軽減”
- ⑨ 就労体験“チャレンジ・ザ・ドリーム”
- ⑩ 夢を育む“青少年の翼”

14

保育ママ制度（昭和44年制度創設）

子どもたちは豊かな愛情の中で育まれることがとても大切です。とりわけ、人間形成に大切な乳児期は、親のぬくもりとスキンシップが欠かせないものです。

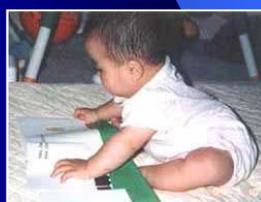
江戸川区の保育ママ制度は、保護者の方が働いていたり、病気などでご家庭での保育が困難なお子さんを、保護者に代わって「保育ママ」が家庭的な愛情と環境のもとでお預かりする江戸川区独自の制度です。



保育ママ 211人

子育てに熱意と愛情を持ったママさんがお預かりします。

- ◎基本保育料
月額 14,000円
- ◎雑費
月額 3,000円



受託児 388人
平成22年度末

15

乳児養育手当

乳児の家庭保育への支援（昭和44年創設）

・月額 13,000円（児童手当の所得制限に準拠）

・予算額 8億9,997万円（23年度）
※対象者の 約9割が手当受給

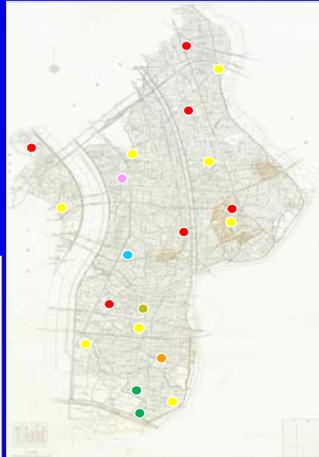
◆制度創設時の手当は、月額7,000円
（当時の高卒初任給は、2万円程度）

16

子育てひろば

区内20か所

就学前の幼児と保護者が自由に遊び交流できます。また家庭で子育てしている保護者同士が、子育ての情報交換や悩みを気軽に相談しあいながら、子育てをする家庭をサポートします。



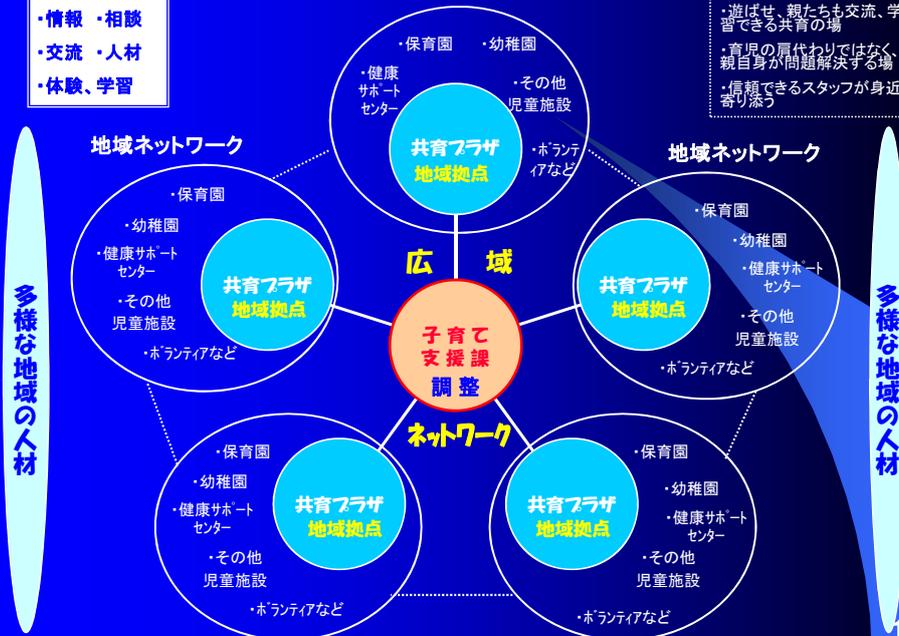
== 地域力を活かした"子育てひろば"事業を各地に展開中 ==

17

子育て支援ネットワーク

- 機能**
- ・情報・相談
 - ・交流・人材
 - ・体験、学習

・子育ての主役は親
 ・遊ばせ、親たちも交流、学習できる共育の場
 ・育児の肩代わりではなく、親自身が問題解決する場
 ・信頼できるスタッフが身近で寄り添う

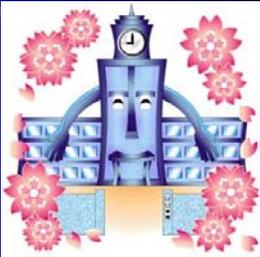


18



私立幼稚園保護者負担軽減補助

- ◆ 幼児教育は私学に依存
- ◆ 区立幼稚園保育料 (月額3,000円) との格差是正
- ◆ 全国一の軽減補助金
 - ・月額保育料補助 **26,000円** 上限
 - ・入園料補助 **80,000円**
 - 23年度予算 **38億6千万円**



20

すくすくスクールと学童クラブ

すくすくスクール

地域力を駆使した活動を展開しています。

学童クラブ児童



一般児童



運営主体：江戸川区

地域の方による支援組織(サポーター等)

- ・安全で広い空間のある学校
- ・1～6年生までの異年齢交流
- ・受入枠に制限なし
- ・交流が学童クラブの子どもに限定されません

「共育・協働」実践の場

21

学校給食費の保護者負担軽減 (小学校・中学校)

給食費の約1/3を
区が負担しています。



小学校3・4年生の保護者負担額は、22区平均の月額4,330円のところ、江戸川区では2,660円と大幅に軽減されています。

平成23年度予算 約5億3千万円
対象児童 36,671人

22

チャレンジ・ザ・ドリーム

〔 3 つ の 目 的 〕

- ・多くの大人と触れ合い、コミュニケーション能力、社会性やおもいやりの心を育む
- ・様々な生き方に直接ふれて、自分自身の将来を真剣に考える
- ・望ましい就労観を育て、自分の進路を選択・決定する力を身につける

実施対象	区内全中学校(全33校)の2年生
実施日数	連続した5日間の職場体験(1日7時間程度)
実施期間	学校ごとに実施日を決定する
体験内容	製造業、販売業、サービス業、保育所、幼稚園、福祉施設、養護施設、 伝統工芸、郷土芸能、農業、飼育、造園等の体験

チャレンジ・ザ・ドリームのさまざまな効果

- 生徒の変容・・・かかわりを通して、自己認識が高まり、自己の可能性の再発見
- 親子関係の変容・・・家庭でのふれあいの時間の増加
- 教師の変容・・・生徒の新たな面の再発見、地域と共に歩む学校への再認識
- 受入先の変容・・・生徒や学校への理解の深まり 地域コミュニティの活性化
- 不登校生徒の変容・・・コミュニケーション能力の向上と仕事の成就感

23

世界へはばたく 青少年の翼

- ・目 的 国際感覚を持った人材の育成を目的として「野村・立井国際交流基金」を活用して区内の青少年を海外に派遣します。ホームステイや人々との交流を通じて、諸外国の生活や文化を体験します。
- ・派 遣 先 5カ国
①アメリカ オレゴン州 ②イギリス ドーセット州 ③オーストラリア ゴスフォード市
④カナダ フリテイッシュコロンビア州 ⑤ニュージーランド 南島ホキティカ町
- ・期 間 平成22年7月27日 ～ 8月7日 12日間
- ・人 員 100名(各国20名程度)
- ・応 募 資 格 区内に在住する中学2年生から高校3年生
※高校生は英検準2級程度の英語力が必要です。
- ・選 考 第一次 小論文 第二次 面接(英語面接を含む)
- ・研 修 ・ガイダンス ・結団式 ・事前研修(4日間) ・事後研修(4日間) ・帰国報告会
- ・参 加 費 5万6千円(パスポート取得は本人負担) ※平成22年度



※平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地の状況などをふまえて、平成23年度は実施見送り

24

その他の子育て支援事業

25

児童福祉施設等の現況

23年4月1日現在

名 称	規 模 等	備 考
認可保育所	84園 定員 10,091人	在籍児 9,549人
区立保育園	44園 定員 5,135人	在籍児 4,767人
私立保育園	40園 定員 4,956人	在籍児 4,782人
保育ママ	202人	受託児 101人
認証保育所	32園 定員 939人	在籍児 728人
認定保育室	3室 定員 62人	在籍児 19人
認定こども園	1園 定員 181人	
幼稚園	44園	区立・私立幼稚園在籍児
区立幼稚園	5園	11,841人(23年5月1日)
私立幼稚園	39園(他に類似施設2施設)	
子ども家庭支援センター	こどものへや・談話室、相談室など	
ファミリーサポートセンター	協力会員 560人 依頼会員3,242人	活動回数 12,408 件 (22年度実績)
すくすくスクール	全小学校73校で平成17年度より実施	
女性センター	相談・カウンセリング など	
そよ風松島荘	入所可能世帯数 20世帯	※18年4月より指定管理者

26

子育て支援事業の現況

23年4月1日現在

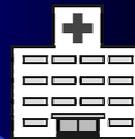
事業名	内容	実施状況
一時保育	保育所を利用していない家庭において、保護者の通院等により一時的に家庭での保育が困難となる場合や育児疲れ等、保護者の心理的・肉体的な負担を軽減するための支援として、就学前の子どもを一時的に保育することで、家庭保育を支援します。	9園 22名定員
病児・病後児保育事業	病気の回復期にあり集団生活が困難な子どもを医療機関の付帯施設で保育する事業に対し補助を行うことで、保護者への子育て支援と児童の健全な育成を図ります。	4か所 16名定員
育成室	就学前の「心身の発達に心配や遅れのあるお子さん」が保護者の方とともに通い、楽しく遊びながら、日常生活に必要な身辺自立の向上と心身の発達を促します。	2か所
ショートステイ事業	保護者の病気、出産、家族の介護、冠婚葬祭、就労などの理由により、家庭で一時的に児童の養育ができない場合、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、児童及びその家庭を支援します。	1か所 1名定員

27

子ども医療費助成

【東京都制度】 ※児童手当に準拠した所得制限あり

- ・平成6年1月 事業開始 満3歳まで
- ・平成10年度 3歳未満 ⇒ 4歳未満(10月より)
- ・平成12年度 4歳未満 ⇒ 5歳未満(10月より)
- ・平成13年度 5歳未満 ⇒ 就学前(10月より)
- ・平成19年度 小・中学生 ⇒ 自己負担の1/3助成
- ・平成21年10月 入院 自己負担額を助成
通院 自己負担額から一部負担相当額を控除した額を助成



【江戸川区】

- ・平成 6年1月 事業開始
- ・平成 7年9月 就学前を対象に所得制限なし
- ・平成 18年4月 入院医療費全額助成(小・中学生)
- ・平成 19年10月 小学生＝通院費の全額助成(所得制限なし)
中学生＝通院費自己負担の1/3助成(")
- ・平成20年4月 中学生通院医療費全額助成(")

◎予算額 39億1千万円(23年度)

子ども家庭支援センター

子どもと家庭の問題に関する総合窓口です

子どもと家庭の相談

☆専門の相談員が
お受けいたします。

子育てひろば

☆親子で自由に遊
べる“ひろば”です

子育て・サークル情報

☆様々な情報
ボランティア



場 所: 勤労福祉会館内

平成12年度 子育て相談センター
平成16年度 子ども家庭支援センター

29

ファミリーサポート 事業

~~ 地域で 子育ての 助けあい ~~



・センター(勤労福祉会館内)
・サブセンター(8か所)

登
録

登
録

調 整
コーディネート

依頼会員

援助活動

協力会員

育児の援助を受けたい人

育児の援助を行う人

30